

●当選から新会派「おおむら未来の会」結成・加入まで。

●6月議会一般質問

1、市長マニフェストの評価・検証について

民間団体の提言に応える、という受け身が現状。行政が推進役を担いマニフェストの評価と検証を定期的に行うべき。民間では能力給・歩合給もあたりまえ。同じにする必要はないが、評価を何らかの形で反映させるべき。

→第三者による外部評価制度の導入を目指して検討する。**9月議会には方向性を出す。**評価の反映については市長に判断になると思う。

2、市営住宅「(仮称)本町アパート」整備計画の抜本的見直しについて

市内には民間の賃貸住宅の空きが1000件ある。人口も減少していく。このような中で新築の市営住宅を建築するのは民業圧迫に繋がりがかねない。国策である民間住宅の借り上げを検討してはどうか。

→市営住宅を含んだ交流プラザは建設する。**民間住宅の借り上げについてはモデル事業として検討する。**

3、中小企業振興基本条例の策定について

地域経済の活性化の為に、従来の政策では不十分。経済政策を再構築する為の根拠、理念となる中小企業振興基本条例を制定すべき。また、先進事例のコピーではなくプロセスを大事にした条例づくりを。若い起業家を支援できる体制や障がいを持った方々が働いて社会参画できるノーマライゼーションの理念も必要。また、制定後は評価と検証を。

→今年度中は調査研究と意見交換を行う。事後の評価・検証は外部評価も含めて取り組んでいく形になる。

●その他の活動・大型公共事業

●9月議会一般質問

1、防災行政について

(1) 福祉避難所の設置状況について

災害助けあいプランには「福祉避難所」の設置を謳っているが、現状はどうか？長崎市には既に70ヶ所以上設置がされている。

→大村市にはまだ設置されていない。今後は介護、福祉関係の団体と協議を進め、**設置をする。**

(2) 公共施設バリアフリー化の進捗状況について

公共施設が災害時には大きな役割を果たすことになる。災害時に避難所となる施設のバリアフリー化の進捗状況はどうか？調査を進めるとともに、改修が必要とされるリスト、恒常的な予算確保が必要。

→避難所の3分1が入り口、トイレがバリアフリー化してある。リストは作成していない。今後アセットマネジメントの一環として調査を進め、**予算化する。**

(3) 災害時の民間団体、企業の協働について

市内民間団体、企業との災害時の協定はどうなっているか？多いければ多いほどリスクが分散される。

→現在、民間5団体と締結（建設業協会、電気工事組合、FM大村、イオン九州、赤水）さらに協定先を検討・調査する。

(4) 全庁的な情報共有がなされているのか？今回の一般質問についてヒアリングを複数部局に行ったが、縦割りの弊害を感じた。災害時の部局の共助はどうなっているのか？顔を突き合わせてのミーティングは行われているか？部局の壁を越えて「チーム大村市」としての体制作りを。

→報告会などを開催したり、全庁内LANを活用して情報共有を務めている。

(5) 災害ボランティアセンターについての進捗状況は？災害時を想定した連携団体との打ち合わせ等は行っているか？今は防災意識が高まっている好機。しっかり計画を立てて密接な体制をとるべき。

→計画のみ。やっていない

(6) 防災教育の充実についてはどうなっているか？

→自主防災組織の研修会等にて防災講話等。消防団の訓練や学校教育等、今後も積極的に行っていく。

・これまで含めて災害時助けあいプランをバージョンアップして欲しい。

(7) 被災地派遣職員の知見の活用について

市職員は被災地支援として何処に？何人が？何の支援にいったのか？職員が現場で体験した知見、課題を活かすべき。情報共有のが必要。企画された市民向けの報告会は自衛隊と合同という事もあり15分しか設定されていない。議会向けにも情報発信してはどうか。

→岩手県8名 宮城県2名、福島県49名、述べ59名職員が支援に赴いた。庁内インフォメーションに掲示をしている。今後書簡を提出させ防災行政に活かしていく。

(8) 震災に機能したインターネットの活用

震災時にインターネットのSNSが活用された。携帯電話での閲覧、携帯サイトの再構築を急ぐ必要がある。

→改定する場合に今後検討する。

改定する場合というのは何時か？ →24年度中に出来るだけ作業を進める。

すぐに取りかかるべき。行政職員でも可能な部分は着手すべき。 →可能な部分は今年度で一部改定する。

・2008年に大村市独自のSNS「話してみゅーか」を構築している。現在では総登録320人。多いとは言えないし、積極的に運用されていなかったのではないか。わざわざ独自に作る必要は無い。現在広がっているツイッターやフェイスブックを使ってはどうか？ →デマなどもある。効果とリスクを研究したい。

災害時だけではない、市民サービスの一環として有用な情報発信を（直後に県がアカウント取得を発表）

2、公園利用者のマナーアップについて。注意喚起の放送は公園の価値を下げるのではないか。大村市の顔とも言える場所に位置しており、大型集客イベントにも利用されている実績がある。規制、管理という考え方より、利用者のマナーアップを図るべき。福岡市が行っているマナーアップ啓蒙運動を参考してはどうか。

→今までマナーアップの有効な手法が見つからない。今後他自治体の事例を研究したい。

3、市立図書館の整備についての進捗状況はどうなっているか？

→昭和48年建築38年が経過し老朽化している。県立図書館との誘致活動と並行して本年4月より庁内で検討会を2回開催し基本構想の作成に着手した。後の検討をさらに重ね、市民や識者の意見を取り入れる機会を作る。

・市と県とは役割が違う。市民の関心は「いつできるのか？」というところ、具体的なスケジュールは？

→具体的なスケジュールは立てられない。

・マニフェストの中に4年間で取り組む重要政策の第一位であると言明されている。市長の任期であるあと3年強で出来るのか？

→マニフェストは目標という性格もある。5年以内という目標を持っていた。3年の間には構想・基本計画まで作成したい。

・マニフェストの変更修正となれば、市民への説明が必要ではないか。これは一種の情報公開である。

今はマルチメディアの時代。映像、音楽、アートといった総合文化発信基地に。建設は中心部になると思うが、市民は中心部だけに居るのではない。支所などと連携を。

4、議会答弁事項進捗状況について

(1) 中小企業振興基本条例について→今年度中に検討会を立ち上げる。商工会議所の協議会に参画する。

(2) 市営住宅の民間借り上げ方式について→23年度中に結論を出す???

●新しい大村づくりのための政策提言「維新八策」

・痛みを分かち合う政治

→震災で交付金が？6月議会にて特別委員会（財政健全化調査）の設置を友好会派提案、しかし・・・

・中小企業振興基本条例の策定

→特別委員会（地場産業振興調査）設置、内部&外部勉強会開催、でもちょっと心配なこと・・・

・市長マニフェストの評価・検証システムの構築

→設置を明言されたが、すり替えられた？ドタキャン?!・・・

・インターネットを活用した双方向の情報発信

→調査研究を進めます、との回答の時は・・・

以下、しばらくお待ちください…m(_ _)m

・予防医療・介護予防の推進と社会の連携 ・大村湾を活かすまちづくり ・使い切り予算の弊害解消

・地産地消の小中給食、病時病後児保育の実施拡大

●疑問に思う事

大村ケーブルテレビ（一般質問&全本会議）・FM大村（76.3mhz・一般質問のみ）にて生中継。

議会ホームページで動画配信中 <http://www.city.omura.nagasaki.jp/gikai>

ホームページ:<http://takatosi.net> ブログ(市政&活動報告※長文多し):<http://blog.goo.ne.jp/kitamuratakatosi>

ツイッター（140字以内で日々のつぶやき）:<http://twitter.com/kitamura1973>

フェイスブック：「北村タカトシ」で検索してください。メール：kitamura@takatosi.net

メルマガ登録・解除：<http://takatosi.net/ml2/voice.html>

携帯：090-8919-2549 電話&FAX：50-0733 事務所：大村市西部町264-1（弊社・ベイサイド大村内）

●本日はありがとうございました！次回は3月議会終了後に開催したいと考えております。

頂いたご意見等への対応も報告させていただきます。またのご参加をお待ちしております！（^O^）

ご意見・ご質問・ご要望・ご感想などをお願いします。

無記名でも構いませんが、宜しければご記入ください。

お名前

ご連絡先